

タマネギ有機栽培技術の確立に向けた支援

農業技術センター普及指導部野菜課

実施期間：令和6～8年

課題・目的

■普及指導部ではグリーンな栽培体系加速化事業を通じて「かながわオーガニックコミュニティ協議会」に参画し、緑肥の活用や太陽熱消毒後の直播タマネギの有機栽培技術をマニュアル化し、有機農業の取組面積の拡大を目指している。

活動内容

かながわオーガニックコミュニティ協議会の生産者5名とともに次の活動を行っている。

■緑肥及びたい肥による土壌改良効果の調査

緑肥の連年栽培、たい肥施用による土壌改良の効果について、土壌の化学性、土壌硬度、土壌微生物相などの調査を行っている。

■省力化に向けた太陽熱消毒と直播きの実証栽培

太陽熱消毒と直播き栽培を組合せた省力化体系の実証栽培を通じ、収量、良品割合を調査し、生産性及び省力化の効果について検討している。

■検討会の開催

専門家を招き、本栽培体系の検討会を定期的に行い、緑肥による土壌改良効果や省力化技術の改善方策等の助言をもらい栽培に活かしている。



今後の展開

■グリーンな栽培体系加速化事業の成果として、タマネギの省力的有機栽培技術のマニュアルの作成を支援していく。